

平成28年度みやぎ食の安全安心消費者モニター 新規登録者アンケート結果報告

■アンケート実施概要

- ・対象者は、平成28年度に「みやぎ食の安全安心消費者モニター」に新規登録した97人である。
- ・回答者数は、70人である。
- ・回収率は、72.2%である。
- ・調査は、平成28年4月から平成29年3月までに郵送により実施した。

■アンケート回答者属性

- ・50代、60代が20人（28.6%）と最も多い。また、男性が11人（15.7%）女性が59人（84.3%）である。

・年代別内訳

（単位：人）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
0	4	5	9	20	20	10	2	70

・男女別内訳（単位：人）

男性	女性	計
11	59	70

■アンケート結果

- ・平成23・24年度のデータと比較した。
- ・年齢階層別に集計した結果、50歳未満と50歳以上の回答者で傾向が異なる設問については、2階層の集計結果を示した。

<結果要約>

1. 食品購入時の行動について

食品を購入する際に最も重要だと思う項目は「安全性」と回答した人の割合が最も高く、次いで「新鮮さ」、「産地・メーカー」の順となっている。

2. 表示の確認頻度と重視する点について

食品購入の際に、回答者の90%以上が「消費期限、賞味期限の日付」と「原産国・原産地や製造者の情報」を確認している。

食品の表示については、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」、「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」、「文字が小さすぎて見にくい」といった不満を感じている。

3. 食品の安全性について

食品の安全性について、「大いに不安を感じている」と回答した人の割合は平成23・24年度の調査と比べて低下した。

「輸入食品の安全性」、「食品添加物」、「農作物の無登録農薬の使用や農薬の残留」については半数以上が不安を感じている。

また、平成23・24年度の調査に比べて「食品添加物」、「遺伝子組換え食品」、「アレルギー物質の含有」、「食中毒」、「食品の異常」に不安を感じている人の割合は上昇しているが、「輸入食品の安全性」、「農作物の無登録農薬の使用や農薬の残留」、「食品表示の偽装」、「抗生物質の使用」、「BSEなどの家畜の疾病」、「水質悪化による水産物の汚染」、「ダイオキシン、環境ホルモン」、「重金属」に不安を感じている人の割合は低下している。

1. 食品購入時の行動

(1) 食品を買うときに重要だと思うこと

問 あなたが食品を購入する際に、特に重要だと思っていることは何ですか？
最も重要だと思うことに◎，次に重要だと思うものに○をつけてください（◎，○は各1つずつ）。

食品を買うときに「最も重要だと思う」項目は、「安全性」であるとの回答が47.1%を占め最も多く、平成23・24年度の調査と比べて14.4ポイント低下した。次いで「新鮮さ」（30.0%）が多く、平成23・24年度の調査と比べて6.9ポイント上昇した。

「次に重要だと思う」項目で回答割合が多いのは「新鮮さ」（24.3%）であり、次いで「味や品質」（21.4%）で、これらが回答者の20.0%を超えている。

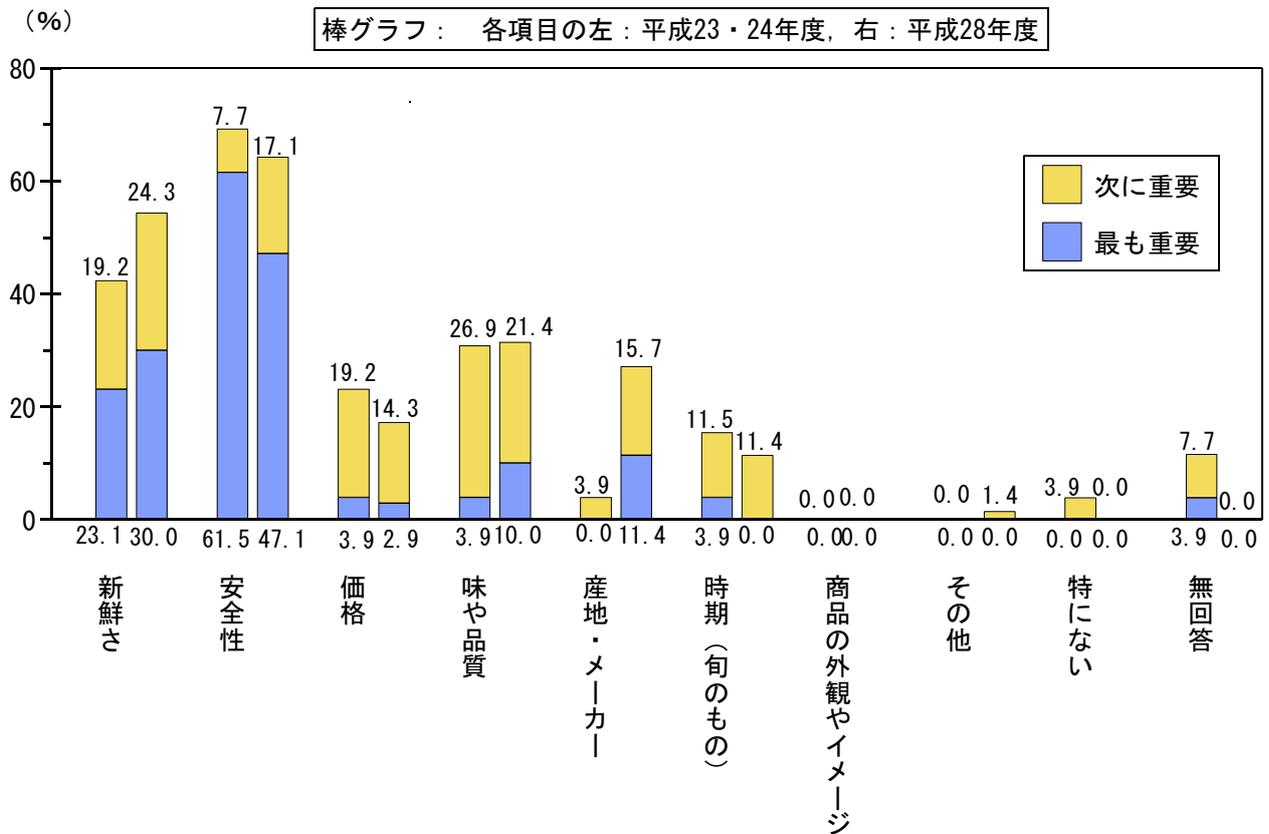


図1 (1) 食品を購入する際に重要とする項目

年齢別では、有意差は見られない。

(2) 買い物をするときの考え方や行動

問 買い物について、あなたの考え方や行動に特によくあてはまるものをお選びください（〇は3つまで）。

買い物をする際に「安全性に配慮した食品かどうかを重視する」の割合が74.3%で最も高く、次いで「価格が品質や新鮮さに見合っているかをよく検討する」（70.0%）であり、いずれも高い割合である。

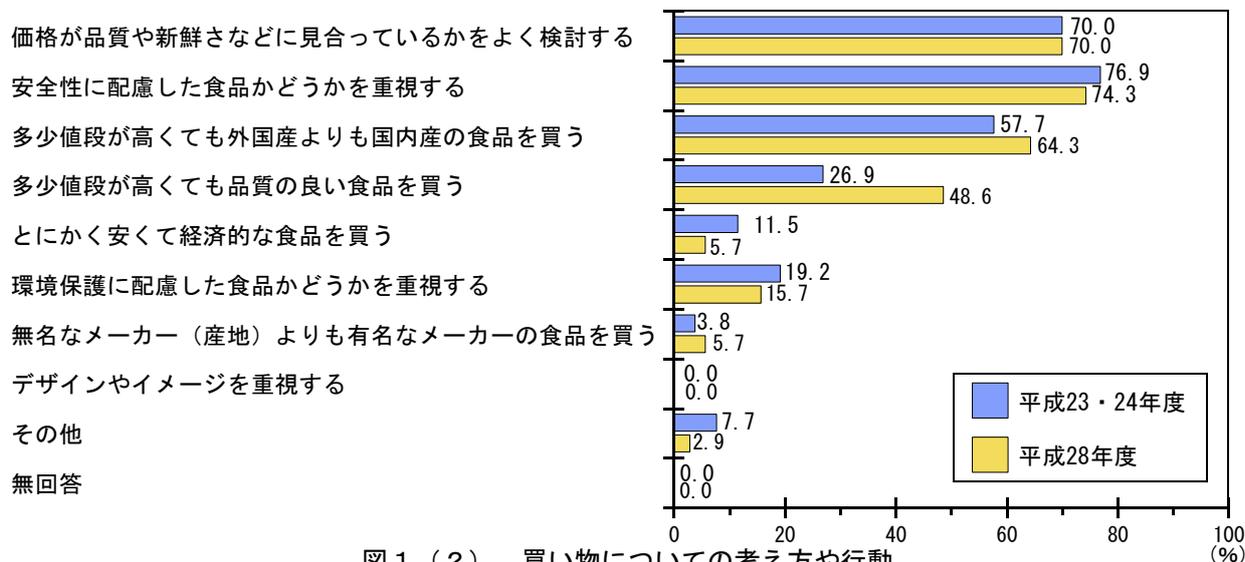


図1 (2) 買い物についての考え方や行動

年齢別では「多少値段が高くても外国産よりも国内産の食品を買う」の項目で有意差がみられ、50歳以上の回答割合が有意に高い。

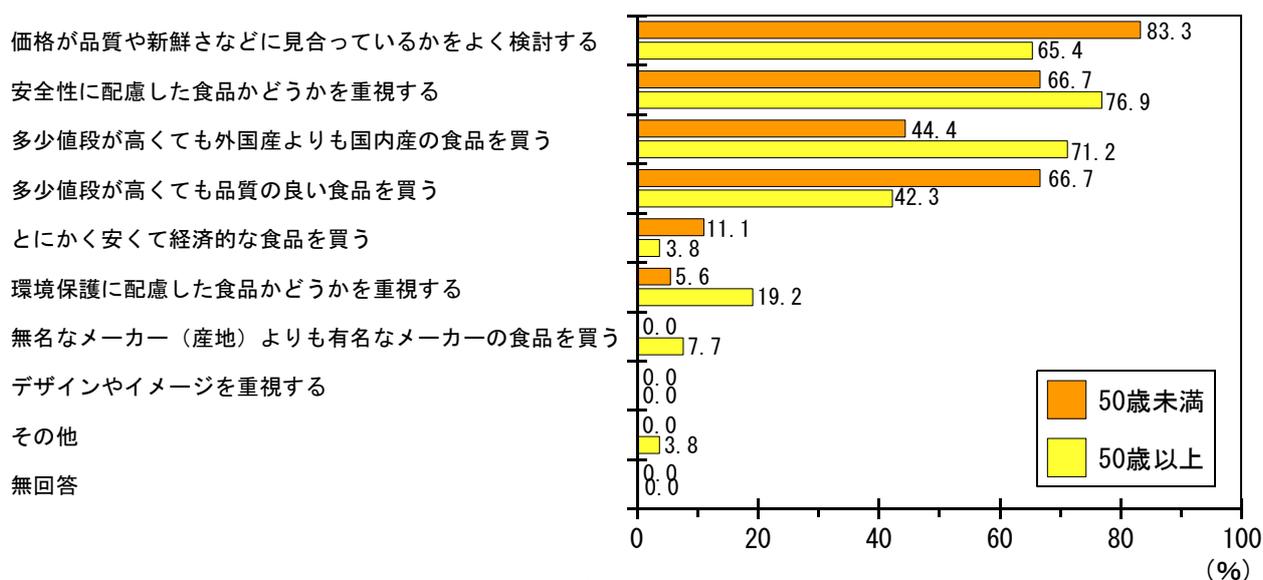


図1 (2) 買い物についての考え方や行動

2. 表示の確認度と重視する点

(1) 食品表示の確認頻度

問 食品の購入時に、以下の表示についてどのような確認をしていますか？
イ 消費期限、賞味期限の日付

消費期限、賞味期限の日付については、78.6%が「たいてい確認している」と回答しており、平成23・24年度の調査と比べて9.9ポイント低下した。「どちらかというど確認している」(20.0%)を合わせると98.6%の回答者が消費期限、賞味期限を確認している。

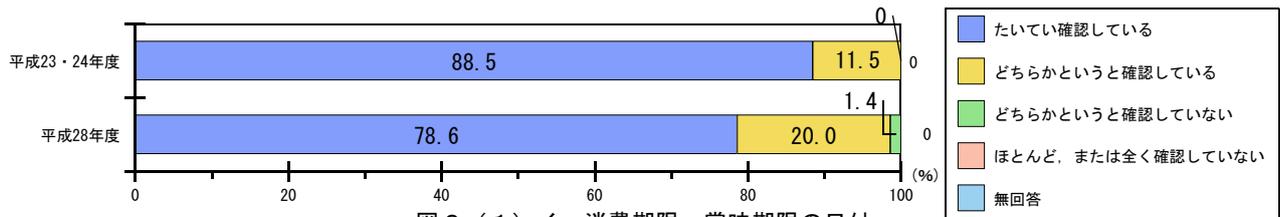


図2 (1) イ 消費期限、賞味期限の日付

年齢別では、有意差は見られない。

ロ 原産国・原産地や製造者の情報

原産国・原産地や製造者の情報については、78.6%が「たいてい確認している」と回答し、平成23・24年度の調査と比べて1.7ポイント上昇した。「どちらかというど確認している」(20.0%)を合わせると98.6%の回答者が原産国・原産地や製造者の情報を確認している。

年齢別では有意差が見られ、「たいてい確認している」の項目では、50歳以上の回答割合が高い。

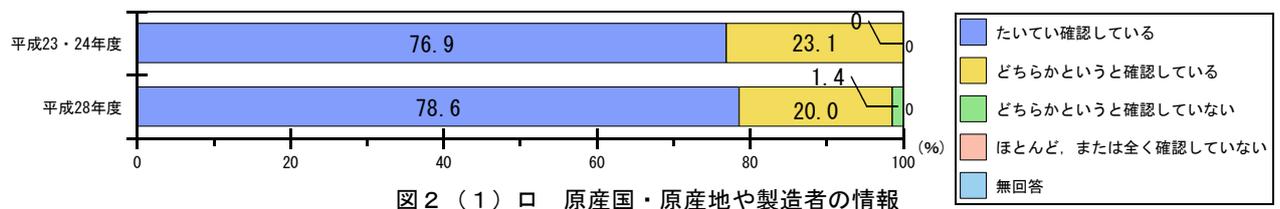


図2 (1) ロ 原産国・原産地や製造者の情報

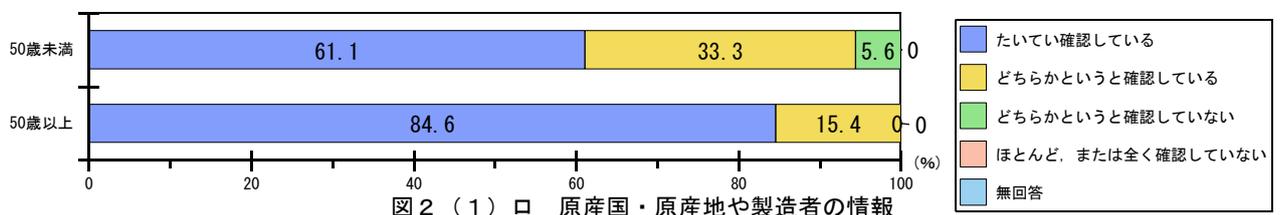


図2 (1) ロ 原産国・原産地や製造者の情報

ハ 原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質，遺伝子組み換え食品等の有無など）

原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質，遺伝子組み換え食品等の有無など）については，40.0%が「たいてい確認している」と回答している。「どちらかという確認している」（37.1%）を合わせると77.1%が確認しており，平成23・24年度の調査と比べて11.3ポイント低下した。

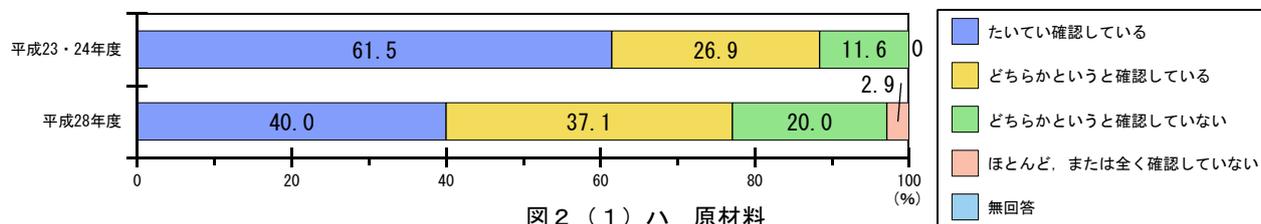


図2(1)ハ 原材料

年齢別では，有意差は見られない。

(2) 食品表示への不満

問 日ごろ、食品表示について不満を感じることはありますか？（〇は5つまで）

食品の表示についての不満は、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」（55.7%）が最も高く、平成23・24年度の調査と比べて2.0ポイント低下した。次いで「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」、「文字が小さすぎて見にくい」、「あいまいな表示が多い」・「宣伝文句やキャッチフレーズなどイメージアップの表示が多い」（同率）の順となっている。

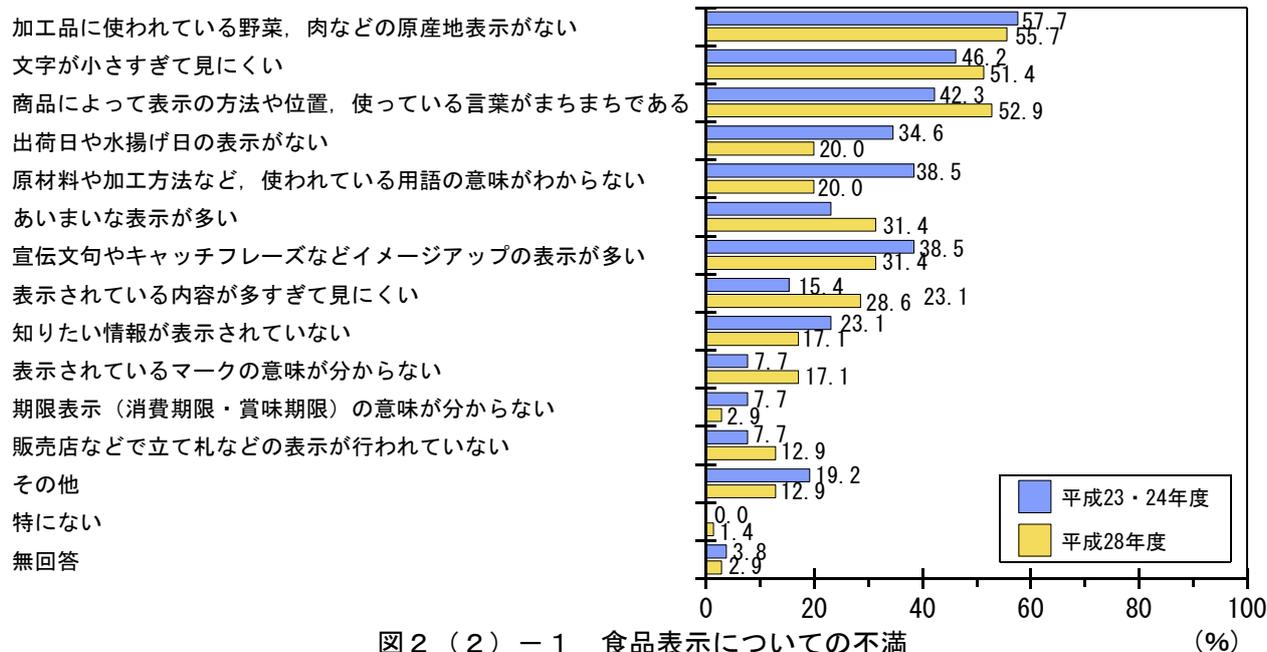


図2(2)-1 食品表示についての不満

年齢別では有意差が見られ、「文字が小さすぎて見にくい」、「表示されている内容が多すぎて見にくい」の項目では、50歳以上の回答割合が有意に高く、「表示されているマークの意味が分からない」の項目では、50歳未満の回答割合が有意に高い。

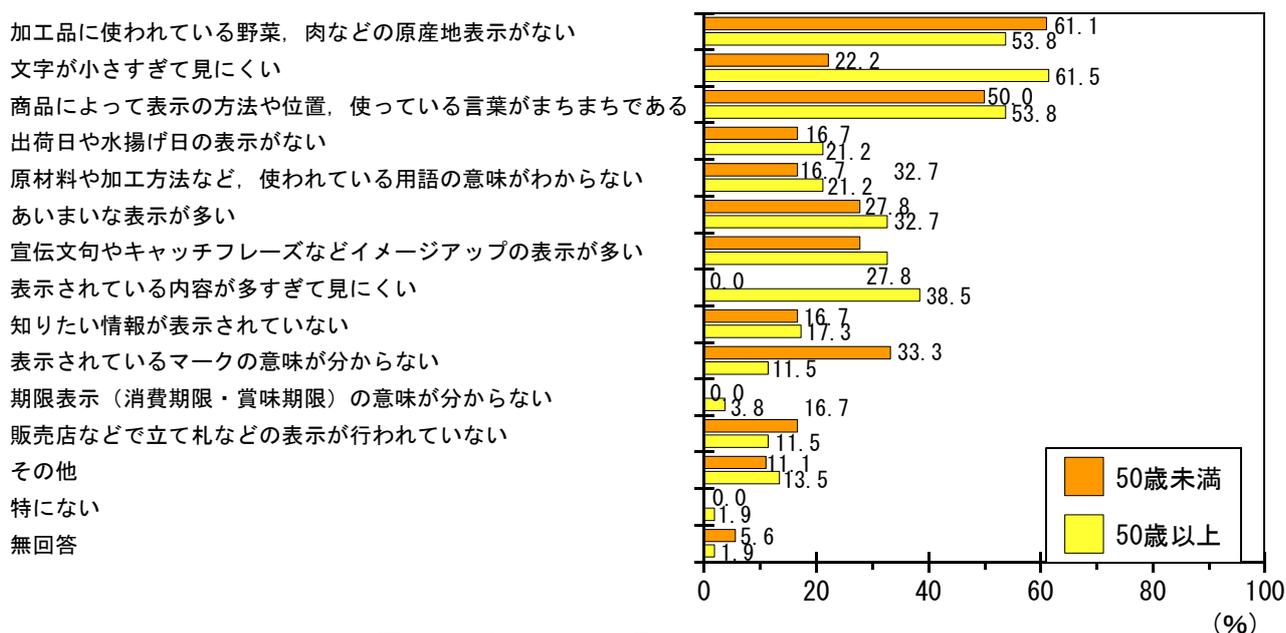


図2(2)-1 食品表示についての不満

3. 食品の安全性について

(1) 食品の安全性に対する不安感

問 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか？（○は1つだけ）

食品の安全性について「大いに不安を感じている」（18.6%）と回答した人の割合は平成23・24年度の調査と比べて12.2ポイント低下した。「大いに不安を感じている」、「不安を感じている」（37.1%）、「少し不安を感じている」（38.6%）を合わせると94.3%であり、程度の差はあるが、食品の安全性に不安を感じる人の割合は高い。

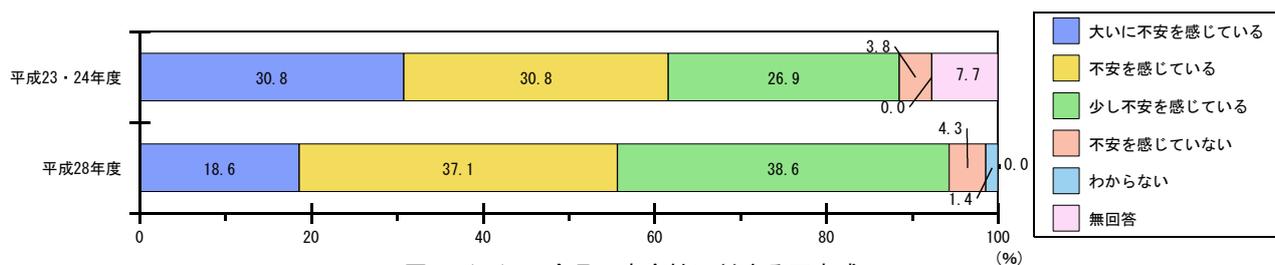


図3（1） 食品の安全性に対する不安感

年齢別では、有意差は見られなかった。

(2)特に不安を感じる項目

問 特に不安を感じていることは何ですか？（○は5つまで）

※ 前問で不安を感じていると答えた方のみ記入

「輸入食品の安全性」(61.4%)、「食品添加物」(58.6%)、「農作物への無登録農薬の使用や農薬の残留」(55.7%)に対して半数以上が不安を感じている。

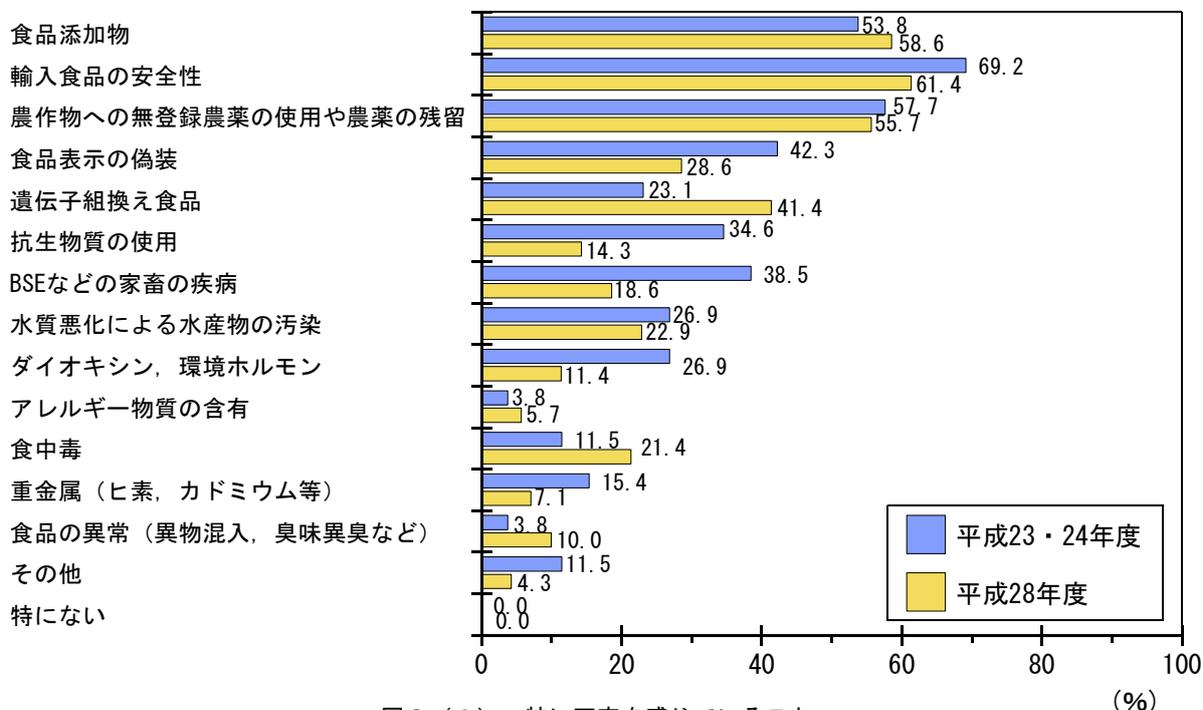


図3 (2) 特に不安を感じていること

年齢別では「食中毒」の項目で有意差が見られ、50歳未満の回答割合が高い。

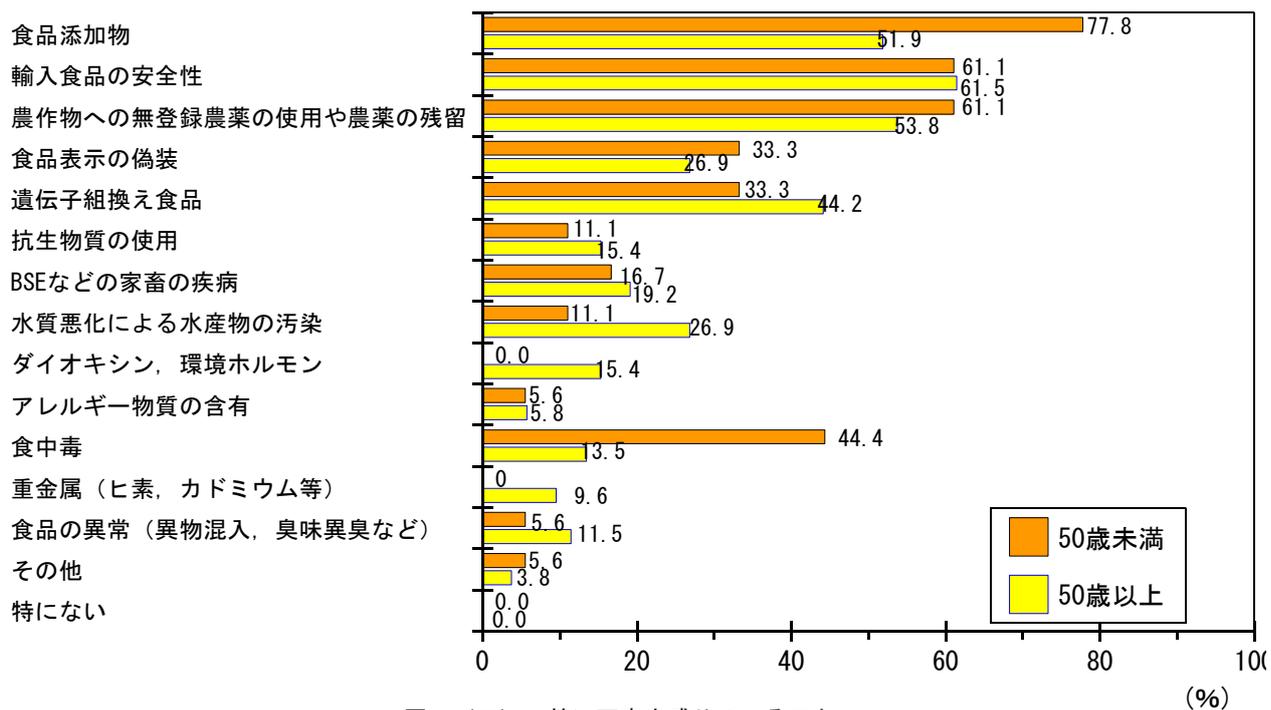


図3 (2) 特に不安を感じていること

参考グラフ

1. 食品購入時の行動

(1) 食品を買うときに重要だと思うこと

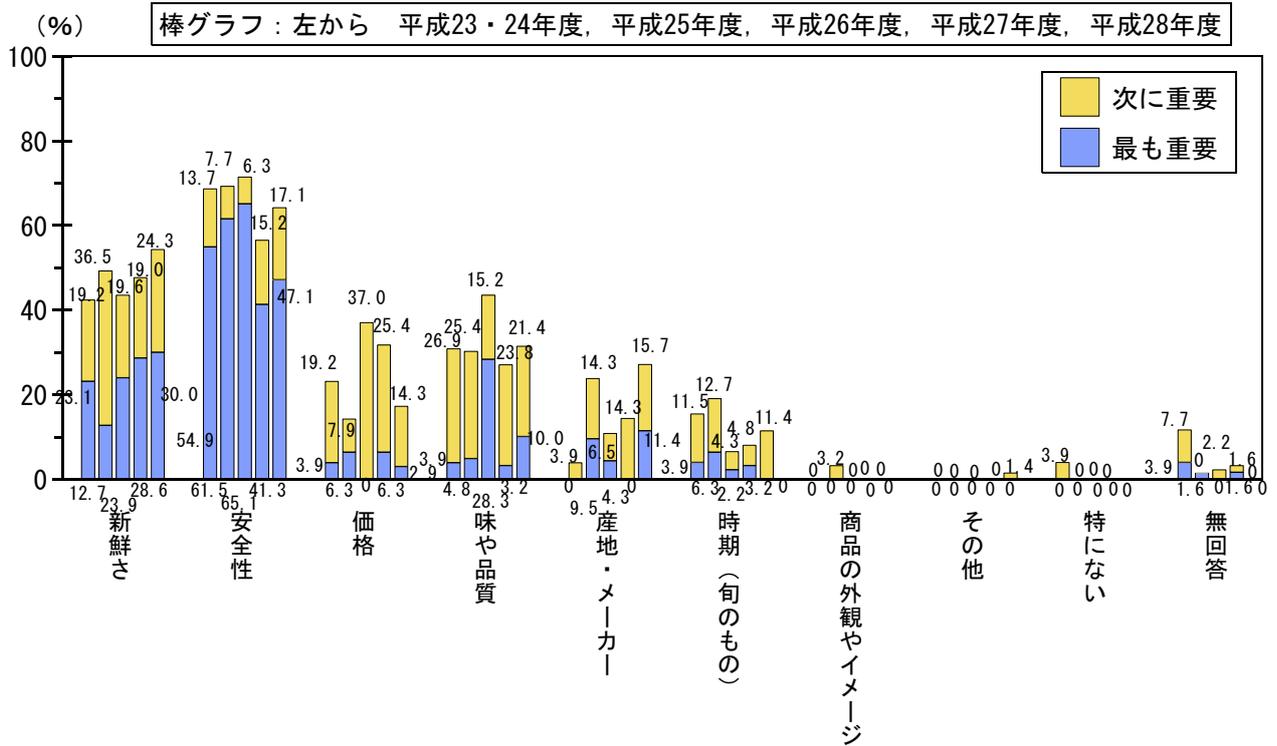


図 I (1) 食品を購入する際に重要とする項目

(2) 買い物についての考え方や行動

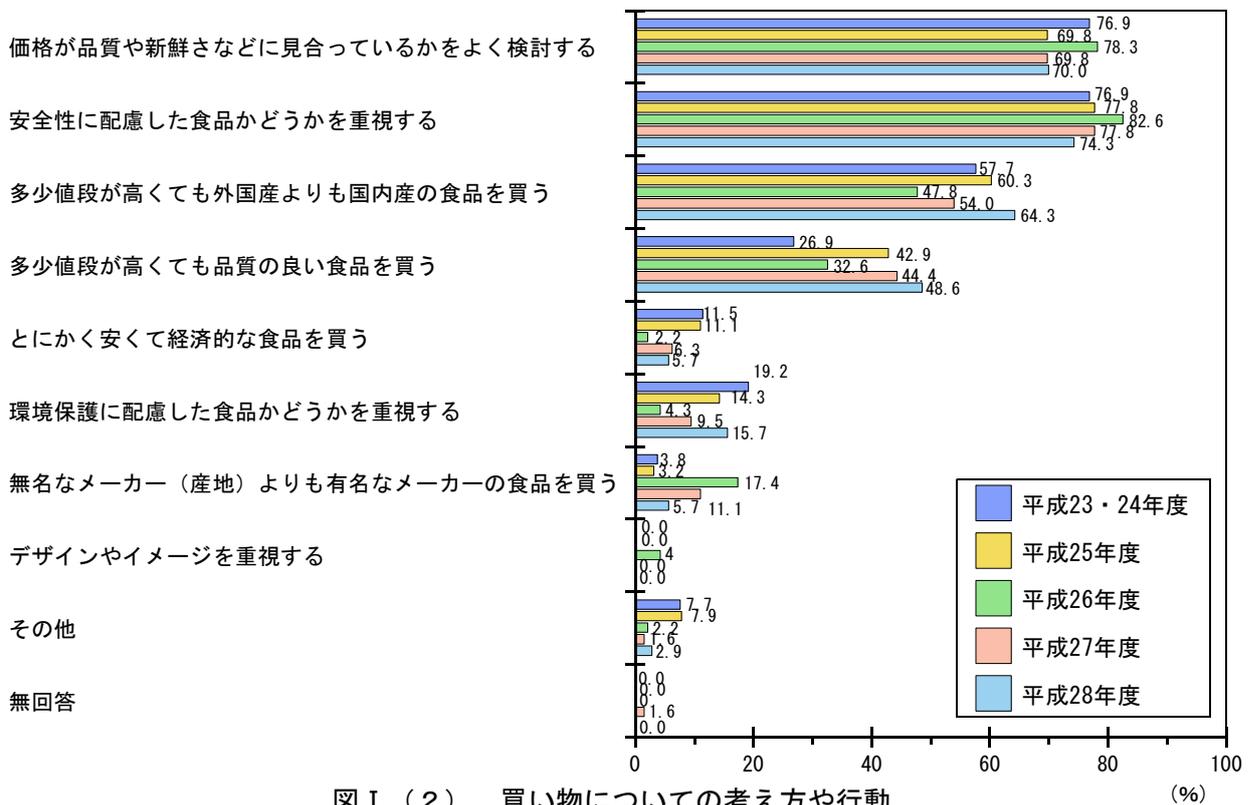
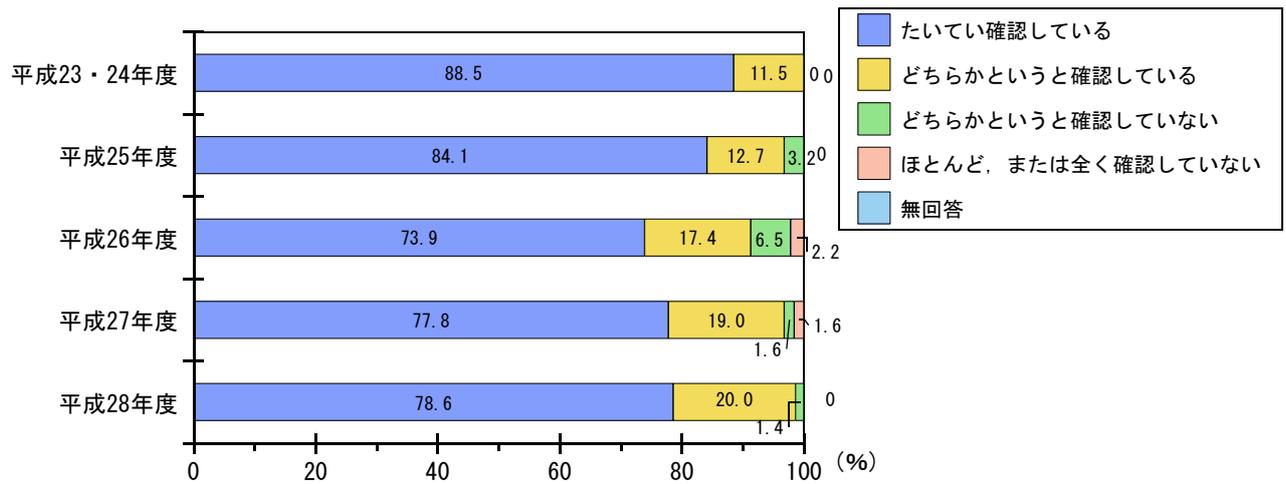


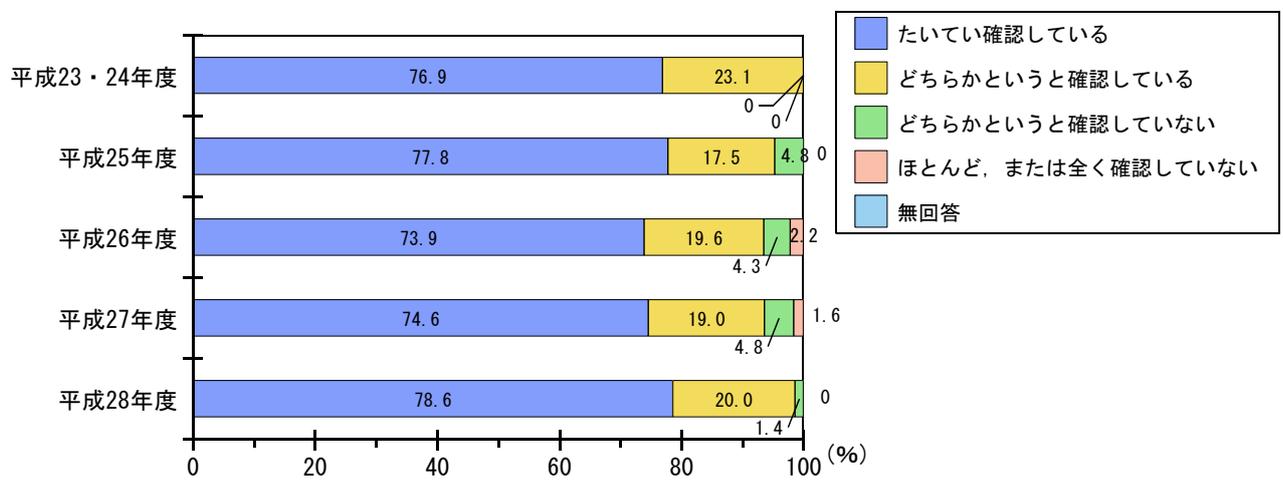
図 I (2) 買い物についての考え方や行動

2. 表示の確認度と重視する点

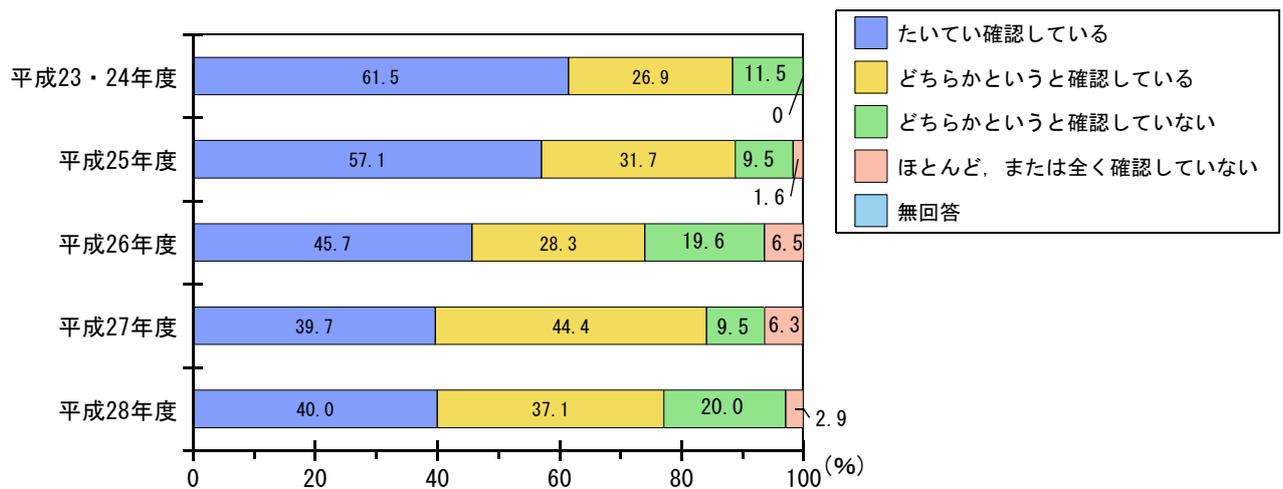
(1) 食品表示の確認頻度



図Ⅱ(1)イ 消費期限、賞味期限の日付

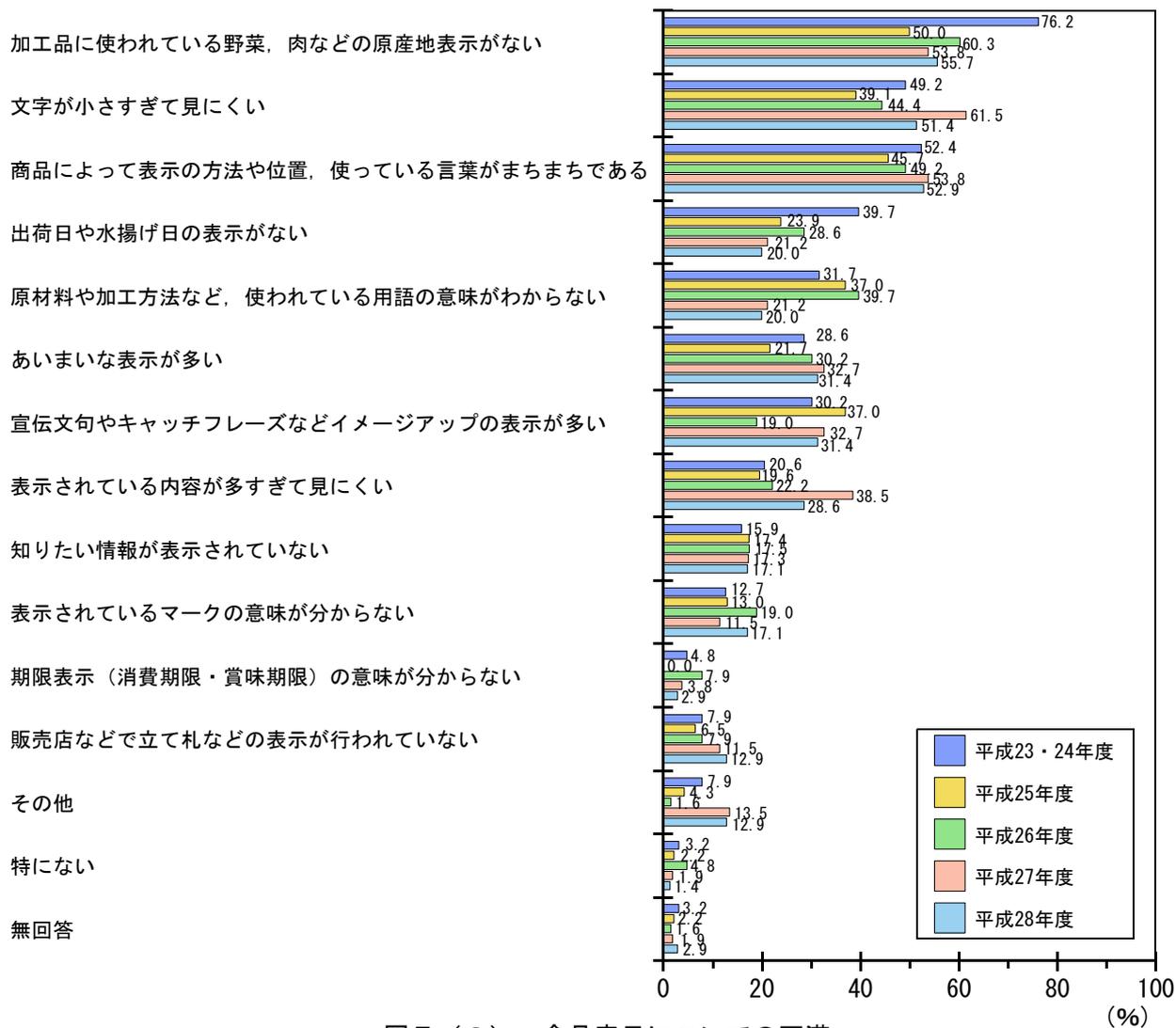


図Ⅱ(1)ロ 原産国・原産地や製造者の情報



図Ⅱ(1)ハ 原材料

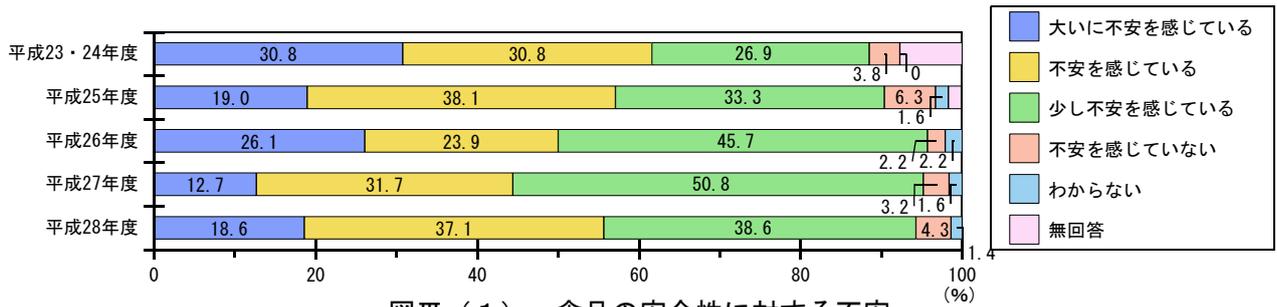
(2) 食品表示への不満



図Ⅱ（2） 食品表示についての不満

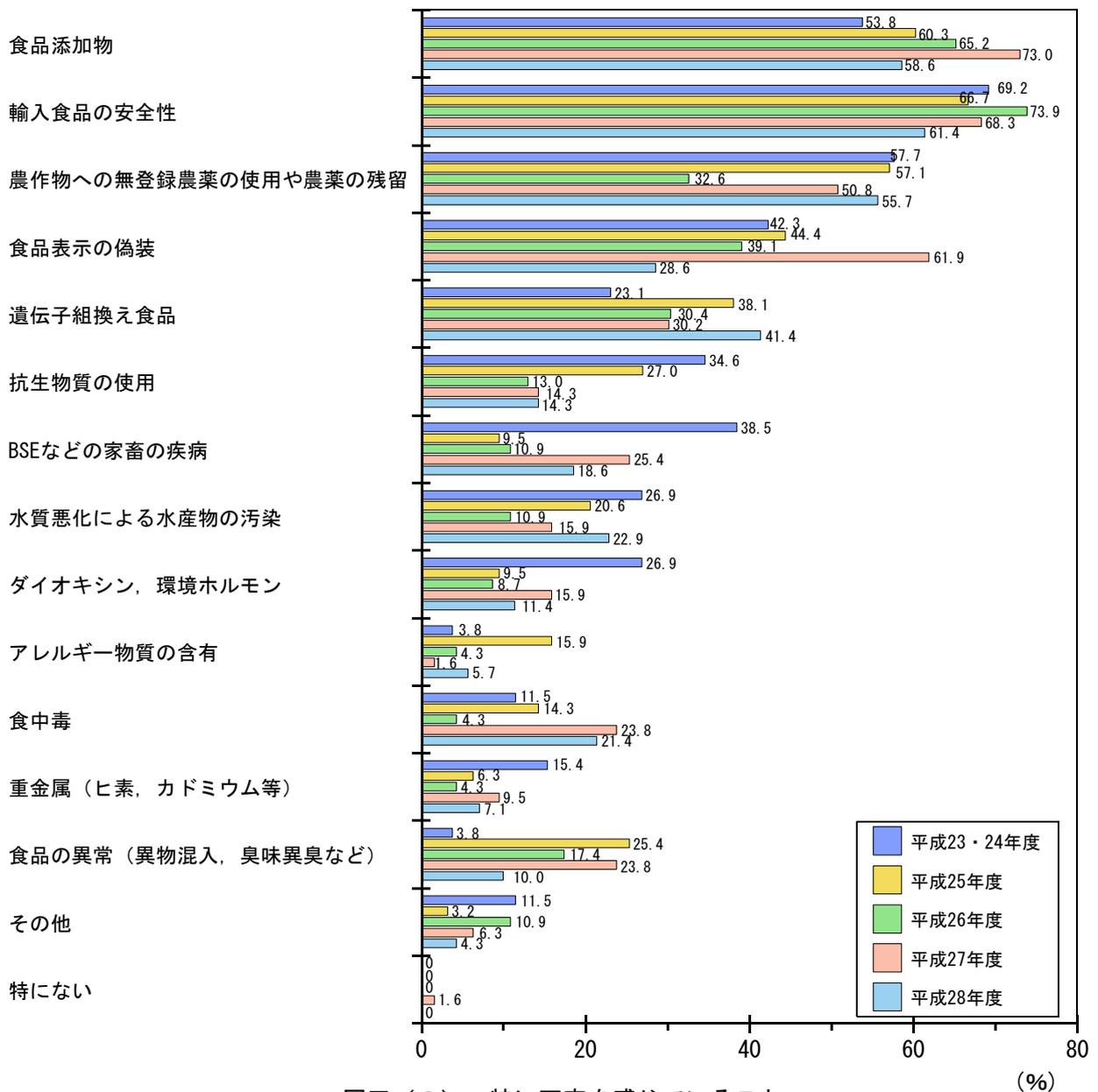
3. 食品の安全性について

(1) 食品の安全性に対する不安感



図Ⅲ (1) 食品の安全性に対する不安

(2) 特に不安を感じる項目



図Ⅲ (2) 特に不安を感じていること